

平成30年度 木曽三川下流地区広域観光連携協議会

桑名ほんぱく水辺マルシェ社会実験

報告書



平成 31 年 2 月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 桑名ほんぱく水辺マルシェ社会実験

開催日時：平成 30 年 9 月 22 日（土） 10:00～20:00

9 月 23 日（日） 10:00～16:00

（当初予定の 9 月 21 日（金）18:00～20:00 は、雨天のため中止）

開催目的：桑名市が実施している桑名ほんぱく 2018 の一環として、国営木曽三川公園 桑名七里の渡し公園を中心とした水辺空間を活用して、新たな観光資源を掘り起し、また地域活性化につなげていくため、水辺空間などへの需要について検証することを目的として実施した。

主 催：桑名市、国土交通省木曽川下流河川事務所

協 力：株式会社くわな新聞社、パナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社、中部運輸局

マルシェ運営：モルタンマルシェ

灯籠設置：桑名市観光協会

開催内容：水辺マルシェ、バリアフリー体験教室、野外音楽コンサート等



1. 水辺マルシェ

国営木曽三川公園 桑名七里の渡し公園の芝生広場及び南仮設広場を利用して、水辺マルシェを実施しました。

キッチンカーでの食事、ハンドメイド市などの出店希望者を事前に募集したところ、2日合わせて40店舗以上の応募がありました。

当日は天気にも恵まれ、家族連れで多くの方に来場頂き、食事や物販を楽しみながら、公園内のせせらぎ水路や芝生広場で休憩する姿が多く見られました。



七里の渡し公園全体の状況



マルシェの会場（南仮設広場）



マルシェの賑わい



ハンドメイド市



せせらぎ水路での憩い



芝生広場での憩い

水辺マルシェ開催にあたり、地域住民に周知するためのチラシ、ポスターを作成し、配布しました。また、くわな新聞社に協力頂き、紙面で水辺マルシェの特集を掲載して頂きました。これらの広報で今回のイベントを知ったという方が多く、広報手法として有効であることが示されました。

その結果、2日間で約8,000人の方に来場頂き、好評が得られました。また、桑名七里の渡し公園における集客のポテンシャルが高いことが検証できました。

参加者の駐車場の確保が課題となりましたが、河川敷を駐車場として開放することにより多くの方に利用して頂くことができ、今後のイベント時等において臨時駐車場として活用できることが検証されました。また、桑名駅からはコミュニティバスの臨時運行が行われ、市外からの来場者を中心に利用されました。



揖斐川河川敷の駐車場

会場内には、木曽三川下流地区広域観光連携協議会のブースも設置し、沿川市町の観光パンフレットの配布や、来園者へのアンケート調査を行いました。
アンケート調査では、2日間合わせて110名の方にご協力頂きました。



木曽三川下流地区広域観光連携協議会のブース



沿川市町の観光パンフレットの配布

2. バリアフリー体験教室

中部運輸局では、障がい者等の自立と社会参加が可能な共生社会の実現に向けて、「心のバリアフリー教室」を開催しています。

今回、水辺マルシェに合わせて、車いす・新型電動車いすを使用した体験教室を開催しました。

体験教室の講師として、社会福祉法人A J U自立の家 自立生活情報センター サポートJ 野々村知幸氏にご指導頂きました。体験教室には桑名歴史案内人の会のみなさんをはじめ、99名（9/22：53名、9/23：46名）の方に参加頂きました。



バリアフリー体験の実施状況

3. 野外音楽体験・野外コンサート

共用栓赤レンガ広場では、地元の演奏家による野外音楽体験が行われました。楽器に自由にさわって体験できることから、子供たちによる楽器演奏も行われました。

黄昏時に行われた野外コンサートでは、多くの人が集まり、盛況を収めることができました。



野外コンサート



子供たちによる演奏体験



夜間のコンサートの状況

4. 夜間開園

桑名七里の渡し公園は、9月は通常 17:00 で閉園しますが、水辺マルシェに合わせて夜間開園を行いました。

園路には桑名市観光協会の協力により灯籠を設置し、また共用栓赤レンガ広場において水辺の焚火も実施し、夜間の情緒を醸し出すための景観づくりを行いました。これにより、夜間まで多くの来場者に楽しんで頂くことができました。



園路の灯籠設置状況



水辺の焚火

5. あとがき

桑名ほんぱくの一環として、桑名七里の渡し公園における水辺空間への需要を検証するため、今回の社会実験を開催しました。

当初は3日間開催の予定でしたが、あいにくの雨天により1日目(9/21)は中止となりました。2日目以降は雨もあがり、好天に恵まれて、多くの方に来園して頂くことができました。

今回の社会実験において、桑名七里の渡し公園における水辺空間利用の需要が高いことが示され、今後のさらなる活用と地域活性化に向けた基礎資料を得ることができたと考えております。

開催にあたり、マルシェ運営全般に携わって頂いたモルタンマルシェさん、灯籠設置にご協力頂いた桑名市観光協会さん、新聞紙面で広報頂いた株式会社くわな新聞社さん、バリアフリー体験にご協力頂いたパナソニックシステムソリューションズジャパン株式会社さん及び中部運輸局のみなさん、その他ご協力頂いた皆様には、厚く御礼申し上げます。ご協力頂きありがとうございました。

引き続き、木曽三川下流地区の広域観光連携にご支援ご協力を賜りますよう、どうぞよろしくお願い致します。

平成31年2月

木曽三川下流地区広域観光連携協議会 事務局
国土交通省 木曽川下流河川事務所 調査課
桑名市 ブランド推進課